

根面カリエス (こんめんかりえす)

根面カリエスって何？

根面とは歯の根の部分、カリエスとはむし歯のことをいいます。つまり、根面カリエスとは歯の根の部分にできたむし歯のことです。歯の上部は「エナメル質」と呼ばれる比較的強い歯質で守られていますが、歯の根の部分は「セメント質」という弱い歯質になっているため、とてもむし歯になりやすいのです。

40代以降&歯周病の方は注意！

通常、歯の根っこは歯ぐきに覆われています。ですからむし歯の原因となるプラーク(歯垢)もつきにくいので、根面カリエスにもなりにくくなっています。

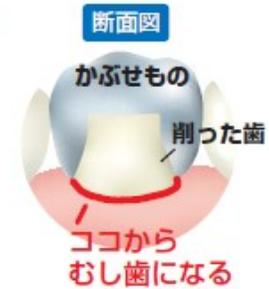
しかし、歯ぐきは年齢とともに下がっていきます。早ければ**30代後半から歯の根っこが露出し始め、根面カリエスになる危険性が非常に高くなります**。また、歯周病によって歯ぐきが下がっている場合はさらなる注意が必要です。

根面のセメント質はむし歯になりやすい



かぶせものをしたところも注意!!

「かぶせもの」の治療をした箇所も根面カリエスの注意が必要です。かぶせものは、製作当初はぴったりできていても、**長年の使用などにより少しずつ隙間ができてきます**。歯の根っこにかぶせものの境目がある場合、この隙間にプラーク(歯垢)が入り込み、むし歯になってしまう危険性がとても高くなります。



治療について

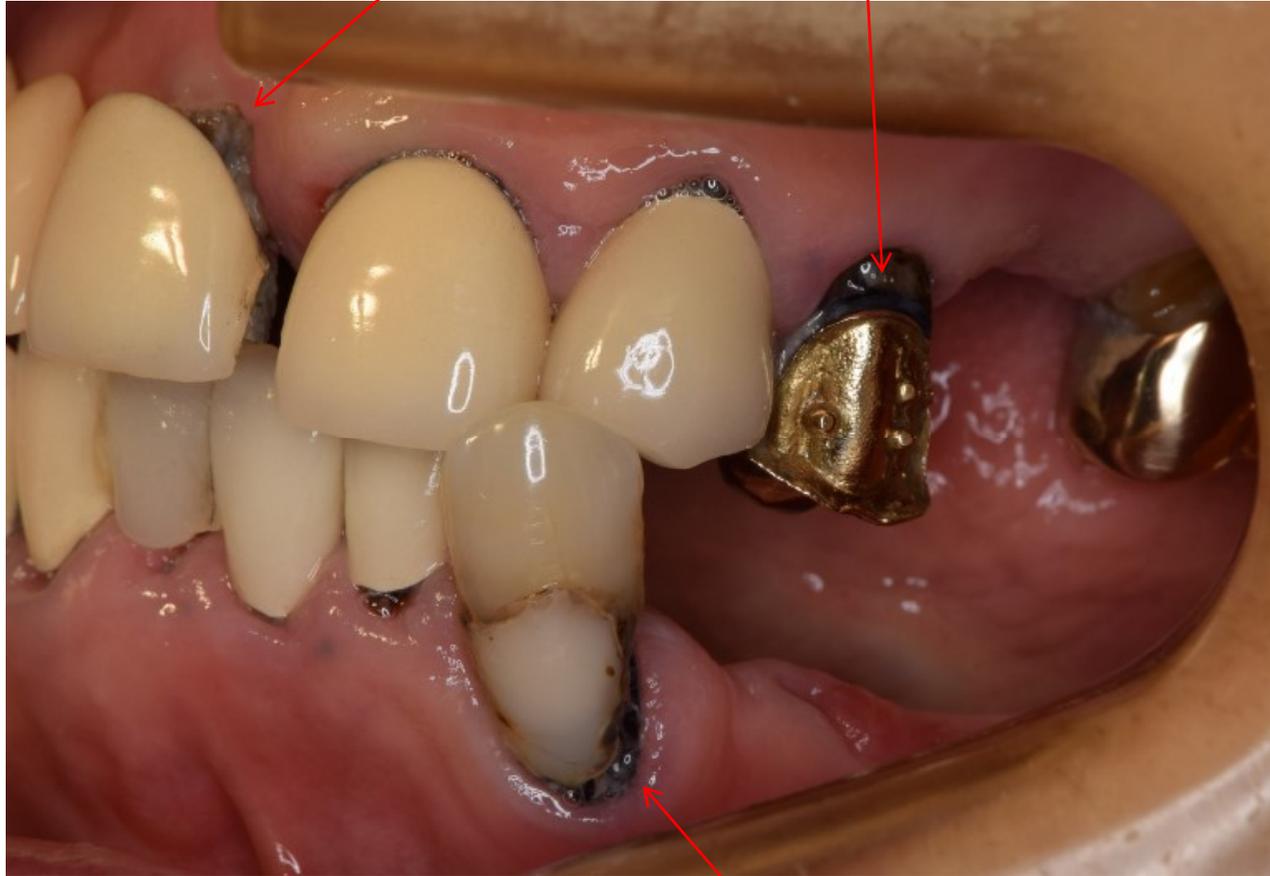


早期に発見できれば、レジンと呼ばれるプラスチックなどを用いて比較的簡単に治療ができます。しかし、「かぶせもの」をしたところ、あるいはむし歯があまりにも進行している場合は、かぶせものを作り直したり、神経の除去、あるいは抜歯が必要な場合もあります。根面カリエスは自分ではなかなか見つけられないので、歯科医院での定期チェックが大切です。

早期発見が大切です！

高齢になると しみるなどの症状がなく進行することが多く注意が必要です

かぶせものの下が
根面カリエス



根面カリエス